

平成30年度予算見積調書(2月補正予算)

課室名：男女共同参画課

担当名：DV対策担当

内線：2925

(単位：千円)

番号	事業名		会計	款	項	目	説明事業	
B24	DVからの回復 民間活力パワーアップ事業費		一般会計	総務費	県民費	男女共同参画推進費	ドメスティック・バイオレンス総合対策事業費	
事業期間	平成29年度～平成33年度	根拠法令	配偶者からの暴力防止及び被害者の保護等に関する法律		宣言項目	07 女性が活躍する社会の構築		
					分野施策	061456 人権の尊重		
1 事業概要			5 事業説明					
<p>DV被害者の多様な状況に対応するためには、民間団体にしかできない、一様でない被害者の個別支援が必要である。</p> <p>現状では地域に偏っており、数も少ない民間団体を育成していくためには、団体のスタッフ数の不足、スタッフの研修機会の不足、安定した事業収益の不足など、民間団体の抱える課題の解決を図る。</p> <p>(1)経費節減に伴う減 △809千円</p>			<p>(1)事業内容</p> <p>ア 団体スタッフの資質向上研修 1,641千円(当初 2,336千円) 全県域に信頼できる民間団体を増やして、行政では対応できない個別支援を実施するため、個人情報管理や相談スキル向上に関する全体研修(2日間)と地域別研修(5地域、各2日間)を実施し、団体スタッフの資質向上を行う。</p> <p>また、既存団体等によるDV出前講座の実施を支援しDV被害者支援分野への参入を促進するとともに、研修受講者に対し民間団体に関する情報提供を行う。</p> <p>イ 団体間のネットワーク化支援(年2回) 69千円(当初 74千円) 民間団体同士が相互に連携を図り、被害者が身近な地域で同じ支援を受けられる体制を整備していく。</p> <p>ウ 地域別市町村と団体の情報交換会(年2回) 247千円(当初 353千円) 被害者の自立において必要な多くのサービスを提供する地元市町村の担当者と民間団体との情報交換(2回)を行い、将来的に民間団体が直接市町村から委託を受けられる仕組み(県内基本単価の設定、各団体の支援のメニュー化)の構築を図る。</p> <p>エ 民間団体自立支援活動促進費補助(5団体) 775千円(当初 778千円) 被害者を一貫して支援する民間団体を県内全域で育成するため、スタッフ配置等の自立支援活動の促進及び充実を図るための補助を行う。</p>					
2 事業主体及び負担区分			(2)事業計画					
<p>(1) (県10/10)、(国10/10)</p> <p>(2) (3) (4) (県10/10)</p>			<p>ア 全体研修を2日間、地域別研修(5地域)を各2日間、DV出前講座を8か所実施</p> <p>イ 民間団体を集めたネットワーク会議を年2回開催</p> <p>ウ 市町村と民間団体の情報交換会を5地域で各2回開催</p> <p>エ 自立支援活動を実施している又は実施予定の民間団体5団体に対して補助</p>					
3 地方財政措置の状況			(3)事業効果					
なし			<p>ア 自立支援を行う民間団体数 平成33年度：30団体(目標)</p> <p>イ 自立支援を受けた人数 平成33年度末：300人(目標)</p>					
4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員			(4)補正予算の概要					
9,500千円×1.0人=9,500千円			経費節減に伴う減額					
予算額		財源内訳					一般財源	補正後の予算額
決定額	△809	国庫支出金					△809	2,732
現計額	3,541	312					3,229	